

第31回 海のサイエンスカフェ

『海の中の「水の塊」が台風の強さを左右する!?』

話題提供：西川はづみ さん（海洋研究開発機構）



海の中の観測に使う
“Argoフロート”

私たちの住む日本の南の海の中、水深100~500 m付近には、“亜熱帯モード水”と呼ばれる巨大な水の塊が存在します。その体積は東京ドーム約17億個分で、東西方向に約4000 km、南北方向に約1500 km、深さ方向に300~400 mに及んでいます。モード水の体積は毎年変化しており、この変化が台風の強さに影響することが最近の研究でわかつてきました。そもそもモード水とは何なのか？海の中の変化がどうやって台風に影響するのか？実際の海の中の観測の様子も交えながら、ご紹介します。

参加費無料
どなたでも、お気軽に♪

日時：2024年 9月16日(月・祝) 9:30～11:30

場所：北海道大学東京オフィス（東京駅日本橋口すぐ サピアタワー 受付3階）

飲食物持ち込み可、各自ご持参ください

定員：20名程度

申込：下記URL内の申込フォームからお申込みください
<http://jos-edu.jp/SciCafe/20240916-1.html>



主催：日本海洋学会教育問題研究会（担当：大林由美子・上野洋路）
お問い合わせは umi_scicafe_info [@] ml.jos-edu.jp まで（カギ括弧は消して下さい）